

保護者と大阪産業大学を
つなぐ情報誌



2025 vol.116

共に学び
共に育む

with

OSU

p.1

ICT OSU の 教育

いよいよ始まる
1人1台端末で
学び方が
変わります

大阪産業大学

CONTENTS

- 05 令和7年度 地区教育懇談会開催
- 07 令和7年度 支部総会開催のご報告
- 09 第60回 大学祭(阪駒祭)
- 11 OSU NEWS & TOPICS
- 13 新しいスポーツ施設誕生！
キャリアセンターから就職説明会のお知らせ

p.14

成績表の確認方法が変わります

いよいよ始まる OSUの ICT教育

1人1台端末で
学び方が
変わります

大阪産業大学では、教育の質を高め、デジタル社会で活躍できる力を育てるため、2025年度から「1人1台端末(BYOD)」を本格導入します。授業や学生生活のさまざまな場面で、ICT(情報通信技術)を活用した学びを進めていきます。



大阪産業大学 副学長
高橋 徹 教授にお話を伺いました

ICTってなに？

ICTは「インフォメーション&コミュニケーション・テクノロジー(情報通信技術)」の略で、情報をやりとりし、人と人、人と社会をつなぐ一つまりコミュニケーションのための技術のことです。パソコンやスマホ、インターネットなどが代表例です。

具体的には 何に使うの？

〈教育現場での活用例〉

- ・授業資料を端末で見ながら受講
- ・レポートや課題のオンライン提出、小テストの実施
- ・グループワークやディスカッション
- ・就職活動の情報収集、オンライン面接への対応

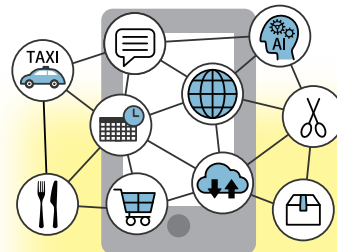
「紙だけ」から「紙+デジタル」へ

これからの社会

「Society5.0」って？

ソサエティ

日本政府は、情報社会(ソサエティ4.0)の次の段階として、「ソサエティ5.0(超スマート社会)」を提唱しています。SNSなどネット上の活動やさまざまなデジタル情報と現実の生活をつなぎ、両方を一体として動かす社会です。仕事も暮らしも、ICT抜きでは成り立たなくなっていくます。



なぜ今、 ICT教育が 必要？

ソサエティ5.0の実現には、AIやIoT(モノのインターネット)、ロボット、ビッグデータなどの先端技術を正しく使いこなす力が欠かせません。理系文系を問わず大学でICTに触れ、活用方法やルールを身につけることで、これからの社会で「自分らしく生きる力」を育むことができます。



大阪産業大学の ICT教育とは

デジタル社会の「便利さ」と「安全な使い方」

1人1台端末の時代だからこそ、パスワードの管理やSNSの使い方、個人情報の扱いなど、情報セキュリティを学ぶことも大切です。大阪産業大学では、ICTの「便利さ」と「安全な使い方」の両方を身につける教育に取り組んでいます。大学の情報セキュリティは情報科学センターを中心に、最新の動向を踏まえた対策や注意喚起を行っています。

デジタル時代の「読み・書き・そろばん」

文部科学省や経済産業省の方針では、デジタル社会の基礎的な素養として、数理・データサイエンス・AIに関する知識と技術を、すべての大学・高等専門学校の卒業生が履修していることが求められています。これはデジタル時代の「読み・書き・そろばん」として位置づけられています。



大阪産業大学のICT教育の柱

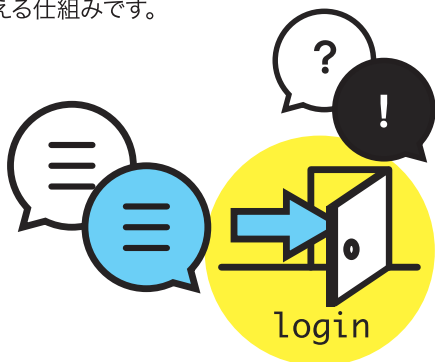
●1人1台端末

2025年度から、各学生はPCを必ず持参することになっています。学生は自ら端末を設定・管理し、オンラインツールを利用する体験を重ね、ICT活用の素養を身につけます。



●WebClass (授業用オンラインシステム)

授業資料の配布、小テストや課題提出、教員からのお知らせ確認などを、ネット上でまとめて行える仕組みです。



●数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)

文部科学省から認定を受けました。

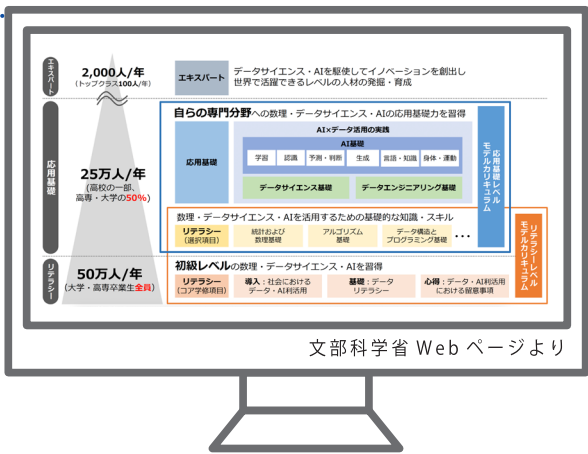
文系理系を問わず全学生を対象としたプログラムです。

〈プログラム内容〉

①社会におけるデータ・AIの活用

②データを読み解き、扱うための基礎的な能力(データリテラシー)

③データやAIを利活用する際の倫理的、法的、社会的な留意点



高橋徹副学長からのメッセージ

本学は「情報に強い大学」となるため、ICT教育に力を入れています。目指すのは、学生が他人の権利やプライバシーを侵害しないための、最低限のマナーとスキルを身につけることです。卒業時に「大阪産業大学の卒業生なら、情報リテラシーは大丈夫だな」と社会から信頼され、「一緒に働きたい」と思っていただけのラインを確保することが、ICT教育の大きな目標であるとも言えます。

AIの利用自体は推奨しますが、「AIを使って課題やレポートを作成してしまう」という、成長の機会を失う使い方は避けてほしいと考えます。学生自身が、何をAIに任せ、何を自力でやるか、バランスを考えて主体的に学ぶ姿勢が重要です。

情報技術は、その出発点もゴールも「人間」です。情報のやりとり、つまり「コミュニケーション」そのものです。文系・理系にかかわらず、すべての学生にとって必須の素養です。



大阪産業大学 副学長
情報デザイン学部 情報システム学科 教授
博士(工学) 高橋 徹



SNSに投稿する前の「ひと呼吸」

SNSは手軽な半面、一度投稿すると完全には消せない「デジタルタトゥー」となります。「誰かを傷つけていないか」「個人情報を出しすぎているか」「感情的になっていないか」を、送信ボタンを押す前に確認する習慣が大切です。

アカウントとパスワードを守る

不正ログインや「なりすまし」被害を防ぐには、アカウント管理が重要です。推測されやすいパスワードや使い回しは避け、2段階認証を設定しましょう。知り合いだからといって、アカウントを貸したり、パスワードを教えることは絶対に避けましょう。

情報をうのみにしない力(情報リテラシー)

SNSや動画サイトの情報には、誤った内容や意図的に誤解させ、悪意をもって誘導する内容を伴うものが含まれます。騙されないために、発信元を確認し、複数の信頼できる情報と照らし合わせる習慣が大切です。

写真・動画を載せるときの注意点

写真や動画には、写っている人の肖像権や建物・作品の「著作権」が関わります。画像に映り込んだ制服や景色、部屋の様子などから、思った以上に個人が特定されることもあります。友人が写っている場合は、投稿前に「載せてもいい?」と確認しましょう。

AIとの付き合い方

AIはアイデア出しや文章のたたき台づくり、専門用語の説明などの場面では、学習効率を向上させる有効な手段となります。「考えるきっかけ」をくれる相手として使うのが基本です。一方、レポートなどを丸ごと作らせるのは、学びの機会を失うだけでなく、不正行為に当たる場合もあります。また、個人情報やアルバイト先の情報など、外に出てはいけない情報は入力しないことが重要です。

誹謗中傷・炎上を防ぐために

ネット上の発言も「公の場の発言」です。人や団体をおとしめる投稿、事実かどうか確かめていないうわさ話の拡散は、名誉毀損など法律上の問題にもつながります。「自分や家族が同じことを書かれても平気か」を基準に、言葉を選ぶことが大切です。

トラブルが起きたら、1人で抱え込まない

大阪産業大学では、インターネットの安全な利用方法の学習体制を整えています。SNSでのトラブルやネット上の嫌がらせなどを1人で抱え込むと、心の負担が大きくなります。信頼できる大人に早めに相談してください。学生相談室では心の悩みに専門のスタッフが対応しています。

令和7年度地区教育懇談会開催
本年度も全13会場で開催者の皆さまと大学とのつながりを強化する地区懇談会を開催。
全体会、個別懇談会の二部構成でお子さまのための密な情報共有を行いました。

大阪産業大学後援会大阪地区教育懇談会

来て、聞いてわかった
「就職活動」の今



当日ご参加の皆さまへお渡しした懇談会資料
ノベルティグッズ



キャリアセンター長
田中彰教授

学長
小川和彦教授

後援会会長
柴田展宏氏



7月27日 大阪会場

第1部「全体会」

「就職に強い大阪産業大学」ならではの取り組みを紹介
後援会・大学の代表、就職支援に携わる教員が、多方面からの学生サポートについて語りました。

●柴田展宏 後援会会長 「大阪産業大学は自ら学ぶ力を伸ばす大学。学生生活のサポートも充実しています」と挨拶。

●小川和彦学長 「施設、設備整備と多様な改革により、社会が求める人間力を引き出している」と強調。

●キャリアセンター長 田中彰教授 最新の分析による就活状況と、それにピッタリ合ったサポートの数々を説明。「保護者と大学の連携を通じて学生をサポートし、良い就職を実現しましょう！」

全体会の 内容 (一部)

- ・就活生への保護者としての関わり方
- ・人材紹介エージェントとキャリアセンターの違い
- ・生成AIは使い方次第！就活にどう生かす？

さらに京都・大阪・神戸会場では、就職活動を終えたばかりの学生による就職活動報告や、資格専門担当者による、就職に役立つ資格講座案内をお聞きいただきました。

学生による就職活動報告(大阪会場)

自分を信じ、励まされて勝ち取れた就職



鉄道の運転士になりたいと大阪産業大学に入学。キャリアセンターには2年生から通い始め、面談を重ねながら、インターシップや説明会に積極的に参加し、視野を広げました。目標の業種に就けたのも、私の自由を尊重し、励まし続けてくれた両親のおかげと感謝しています。

内定企業
JR西日本
近畿日本鉄道
トヨタ
レンタリース大阪

スポーツ健康学部 スポーツ健康学科4年生 安藤 健悟さん

第2部「個別懇談会」

「お子さま一人ひとりの
立場に寄り添った
アドバイスを提供」

所属学科教員による懇談のほか、学生生活・留学・就職など専門の担当教員が、お子さまの個別状況に応じた親身な懇談を行いました。

第2部「個別懇談会」で よかったのは？

大学生活のいろいろ
何を聞いてよいかわからないままの参加でしたが、先生は親身になっていろいろな面から教えてくださいました。

スポーツ健康学部 スポーツ健康学科(3年)の保護者様

大学院進学について

子どもが大学院進学に関心をもっている、話を聞きたいと思い参加しました。勉強のことを非常に詳しく知ることができました。

デザイン工学部 環境理工学科(2年)の保護者様

子どもに寄り添った説明

先生が就職のこと、学生生活のことなど、わかりやすく丁寧にアドバイスをくださいました。子どものこれからの成長が楽しみです。

システム工学部システム工学科(2年)の保護者様

2026 来年度、令和8年も開催！是非お近くの地区教育懇談会にご参加ください

詳細は令和8年5月中旬に保護者様宛に郵送にてご案内いたします。

2026年 6月20日(土)	北陸地区	TKPガーデンシティPREMIUM金沢駅西口
	岡山地区	★ホテルグランヴィア岡山
6月27日(土)	東海地区	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口
	九州地区	TKP博多口カンパレンスセンター
6月28日(日)	兵庫地区	ANAクラウンプラザホテル神戸
	滋賀地区	★ホテルボストンプラザ草津 びわ湖
7月4日(土)	和歌山地区	ホテルグランヴィア和歌山

7月5日(日)	京都地区	★ホテルグランヴィア京都
7月11日(土)	四国地区	★リーガホテルゼスト高松
	山陰地区	米子ワシントンホテルプラザ
7月18日(土)	三重・奈良地区	★ホテル日航奈良
	西中国地区	広島ガーデンパレス
7月26日(日)	大阪地区	シェラトン都ホテル大阪

★の会場は支部総会のある会場です。 ※予定は変更になる場合があります。

大学の詳しい紹介

大学の特徴や強みを紹介するお話が、とてもわかりやすかったです。懇談会は、子どもの学ぶ大学についてよくわかるいい機会ですね。

工学部都市創造工学科(2年)の保護者様

学生の体験談

最新のリアルな就職活動の様子が聞けたのが興味深かったです。就活に取り組む学生たちの一生懸命な姿には感動を覚えました。

経営学部経営学科(2年)の保護者様

最新の就活事情

詳しいデータを挙げて説明してもらえたので、最新の就活事情がよくわかりました。来てよかったと思います。

システム工学部システム工学科(1年)の保護者様

第1部
「全体会」でよかったのは？

令和7年度支部総会を開催しました

令和7年度の各支部総会は、地区教育懇談会の日程に合わせ、以下の通り開催いたしました。

各支部とも令和6年度、7年度の議事を異議なく承認しましたことを、ここにご報告いたします。
また総会に先立って、5月に「保護者懇親会」を開催した支部についてのご報告は、後援会ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



後援会
ウェブサイトは
こちらから



岡山地区支部
6月29日(日): ホテルグランヴィア岡山



滋賀支部
7月5日(土): ホテルボストンプラザ草津 びわ湖



京都支部
7月6日(日): ホテルグランヴィア京都



北陸地区支部
7月6日(日): ANAクラウンプラザホテル金沢



三重・奈良地区支部
7月12日(土): ホテル日航奈良



四国地区支部
7月19日(土): リーガホテルゼスト高松

令和7年度後援会活動報告(上期)

- ① 新入生保護者教育懇談会への協力
入学宣誓式(4月1日)終了後、大学主催で新入生保護者懇談会が開催され、冊子制作費用等の援助を行いました。
- ② 就職講演会
定期総会(5月17日)出席者を対象に学食体験会を開催、午後より保護者向け就職講演会を開催しました。また、講演会終了後、学科別就職説明会を実施しました。
- ③ 地区教育懇談会
6月下旬から8月上旬にかけて、地区教育懇談会を全13会場で開催しました。
- ④ 後援会だよりの発行
機関紙「ミチ・OSU(後援会だより)」を6月に発行、保護者の皆さまへ送付しました。
- ⑤ 学生の福利厚生に対する援助
(1) 寄贈
新入生にオリジナルバッグを寄贈しました。
(2) 大学祭に対して費用の援助を行いました。
開催日時: 令和7年11月1日~11月2日
実施場所: 大阪産業大学 中央キャンパス
(3) 課外活動への援助
赤十字ボランティア他クラブ・サークル等43団体へクラブ活動援助金、及び24団体への団体登録料を援助しました。また、申請に基づき、課外活動遠征費を援助しました。
- ⑥ 海外派遣への援助
夏期海外研修参加学生6名に研修費の一部を援助しました。
- ⑦ 贈呈
卒業生に卒業アルバムを記念品として贈呈しました。
- ⑧ 学生の就職活動に対する援助
就職活動の充実を図るため、様々な支援を積極的に行っております。
- ⑨ 支部活動の助成
滋賀、京都、三重・奈良、岡山、四国の5地区に支部が結成されており、各地域での活動のための助成を行いました。
- ⑩ 大学シャトルバス運行援助
生駒キャンパスと大学間のシャトルバスの運行費を援助しました。



後援会支部役員募集

学生の笑顔を
一緒に支えませんか?

大阪産業大学後援会では、後援会行事を手伝っていただける「支部役員」を募集しています。役員同士楽しく話せる雰囲気の中で、気軽にご参加いただけます。先輩役員や事務局職員もサポートしますので、興味を持たれた方は、後援会ウェブサイト内お問い合わせフォームにお名前など必要事項をご記入の上、「支部役員希望」と明記してご連絡ください。後援会事務局よりご連絡いたします。

行事の手伝いを通じて、大学の取り組みがよく分かりました



楽しく活動しながら、大学の雰囲気も知ることができ、大学への関心も高まりました。



一人暮らしをする子どもを持つ保護者同士で交流しています。



最初は少し不安でしたが、気がつけば仲間ができました。気軽に参加しています。



ご興味のある方はお問い合わせフォームよりご連絡ください。

- 大学の学生支援や就職サポートなど、大学の様子がよく分かります。
- 役員間の意見交換を通じて横のつながりも広がります。
- 活動は年数回、行事は土・日が多いので、無理なく続けられる、とのお声が多く。

〈募集する支部〉滋賀支部、京都支部、三重・奈良地区支部、岡山地区支部、四国地区支部

開学60周年を迎え、 催しも笑顔もパワーアップ！

爽やかな秋空のもとで举行された2025年第60回阪駒祭。模擬店に、お笑いライブ、パフォーマンスやゲームなど、小さなお子さまからお年寄りまで、さまざまな年代の方に喜んでいただけるイベントを用意して、来場者に楽しんでいただきました。来場者数は、2日間の合計でコロナ禍以降最大の3,266人となりました。たくさんのご来場ありがとうございました。



第60回 阪駒祭実行委員



後援会会長 柴田展宏氏



学長 小川和彦教授

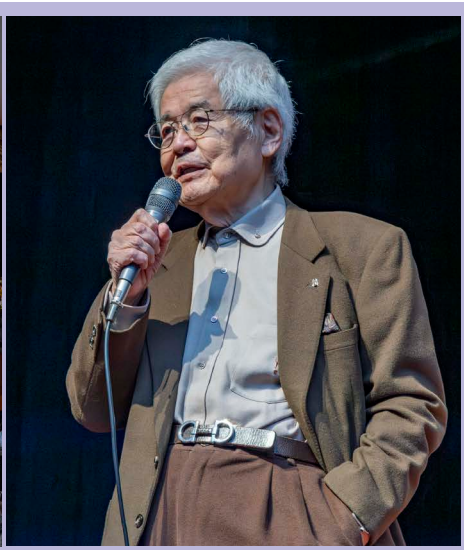


大学祭実行委員長による開会宣言



後援会会員の皆さまへ
オリジナルプレゼント

1日目に来場された保護者の方に、
オリジナルトートバッグと
ミニエコバッグを配布しました。



養老孟司氏の講演会
阪駒祭初日11月1日(土)に
大阪産業大学学会主催にて
開学60周年記念事業の一環として
実施されました



来てよかったと思う点は？
みんな楽しそう
気分が
盛り上がった！



阪駒祭の感想は？
キャンパスが
キレイ、素敵
でした！



阪駒祭の感想は？
スタッフが
本当に親切！



よかった出し物は？
漫才ライブ、
ウケました！



大学祭実行委員会 委員長
池田純平さん
経営学部経営学科(3回生)
昨年の大学祭終了の瞬間から準備が
スタートした60年目の阪駒祭。委員
会の仲間と頑張りながら本番を迎え
ることができました。みんなで話し合
いながら進めてきた企画がこうして実
現でき、さらに大学の仲間や来場者の
方々に楽しんでもらえて、本当に嬉し
いです。心からやりがいを感じました。

大学祭実行委員会 副委員長
杉田和香奈さん
経営学部商学科(3回生)
第60回のテーマは「楽観憶生(らくしゅん
おくしゅう)～楽しい時間は一瞬、思い出
は一生」。これは、実行委員会のメンバー
全員で考えた造語です。私自身もこの言
葉通り、学生時代の素晴らしい思い出を
作ることができました。準備の段階から
大学内外の多くの方々と交流し、貴重な
社会経験ができたことも感謝しています。



阪駒祭の感想は？
模擬店の呼び込み
元気で
明るかった



来てよかったと思う点は？
屋台の食べ物
が美味しかった！



体操競技専用体育館「Well GYM」開設記念式典を開催



2025年8月、南キャンパスに体操専用体育館「Well GYM」が誕生。記念式典と祝賀会が8月24日(日)に行われました。式典では小川和彦学長の挨拶とテープカットに続き、地域の「キッズ体操教室」の子たち、本学体操競技部がダイナミックな演技で新施設の幕開けをアピール。特別ゲストにお迎えした日本体育協会体操女子強化本部長で元オリンピック選手の村上茉愛さんは祝辞の後、学生との対談にも参加。

村上さんが語る経験や体操競技の魅力などに、学生たちは一言一言深くうなずいていました。

最新の体操競技器具を備えた「Well GYM」は、本学スポーツ健康学部の授業や課外活動に活用されるほか、地域スポーツの拠点としての役割を果たしていくことが大いに期待されます。



システム工学科 光情報科学研究室「CEATEC(シーテック)2025」に初出展

10月14日(火)～17日(金)に幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催されたアジア最大級のデジタルイノベーション総合展「CEATEC2025」(主催:一般社団法人電子情報技術産業協会)に本学が初出展しました。

展示内容は、システム工学科システム工学科光情報科学研究室草場光博教授の「ナノ秒紫外レーザー照射で高密度ナノドット構造形成に成功!」。研究室内の学生2名も参加し、従来レーザー加工で達成できなかった量子サイズに近い微細加工を実現化できた技術について紹介しました。国内外の超大手企業をはじめとする官公庁、大学・研究機関などから多数の来場者があり、活発な意見交換が行われ、大変有意義な出展となりました。



写真左から 田中利玖さん、草場光博教授、大蔵文翔さん

硬式野球部 阪神大学野球連盟秋季リーグで2季連続、通算12度目の優勝

10月16日(木)、大阪シティ信用金庫スタジアム(大阪市)で行われた、2025年阪神大学野球連盟秋季リーグ戦・優勝決定戦において、大阪産業大学は天理大学を相手に、延長十回タイブレークの末、4対3でサヨナラ勝ちを収め、見事秋季リーグ優勝をしました。この結果、硬式野球部は創部初の春秋連覇を成し遂げ、本学のスポーツの歴史に輝かしい1ページを記しました。

このリーグ優勝により本学硬式野球部は、10月31日(金)よりGOSANDO南港野球場にて開催される第23回関西地区大学野球選手権大会(兼第56回明治神宮野球大会関西地区代表決定戦)へと駒を進めました。



バレーボール部男子 西日本インカレで16年ぶり、3回目の優勝!

6月29日(日)、兵庫県のヴィクトリーナ・ウイング体育館で行われた2025年度第51回西日本バレーボール大学男子選手権大会(通称:西日本インカレ)において、大阪産業大学は準決勝戦で中京大学、決勝戦で岐阜協立大学を破って見事優勝を果たしました。同大会での優勝は16年ぶり・通算3回目となり、関西大学春季リーグでの通算3回目の優勝に続く快挙。応援席からの歓声に結果で応えようと、チーム一丸となってつかみ取った栄冠です。個人としても、菅中暁さん(経済学部4回生)が3冠(MVP・ベストスコアラー賞・サーブ賞)、横山夏希さん(スポーツ健康学部1回生)がレシーブ賞、サーブレシーブ賞を獲得。さらに、優れた指導力を評価された澤井亨監督が最優秀監督賞を受賞しました。

写真左から 澤井監督 佐藤選手(部長) 小川学長 菅中選手



環境理工学科の学生がEXPO2025での学生交流会に参加



デザイン工学部環境理工学科の学生たちは9月10日(水)、夢洲の大阪・関西万博会場を訪れ、循環型社会の形成と廃棄物問題の解決をめざして活動を行なっている廃棄物資源循環学会の学生交流会に参加しました。学生たちはまず、ジュニアSDGsキャンプで行われたイベントにボランティアで参加し、来場者と一緒にゲームを楽しみながら環境問題について話し合い、地球を守る大切さについて思いを新たにしました。

その後は日本館を訪れ、会場から出た生ごみを微生物でメタン発酵させてバイオガスを作り、発電に利用する「バイオガスプラント」を見学。暑い1日でしたが、学生たちにとって有意義かつ新鮮な体験となりました。

建学の精神が ”焼肉のたれ“に!?

大阪産業大学の建学の精神

「偉大なる平凡人たれ」が、

なんと”焼肉のたれ“になりました。

本学の建学の精神を

もっと身近に感じていただくための試みとして、

阪駒祭(11月1・2日開催)にて、

非売品として配布されました。

製造過程の
動画はこちら



現在、追加の製造予定はございませんが、若干の在庫がございますので、ご希望の方に配布いたします。

〈配布方法〉

後日、保護者ポータルにて、配布方法をご案内します。

編集後記

2025年の新語流行語大賞に「二季」がノミネートされましたね。猛暑が続いた長い夏から、突然セーターやジャケットが必要な冬がやってくる。春と秋はどこにいつてしまったのか。そう感じてしまう一年でした。

さて、本日お届けします後援会だより116号は、特集記事として「いよいよ始まるOSUのICT教育...1人1台端末で学び方が変わります」と題し、大阪産業大学のICT教育について取り上げました。副学長の高橋徹教授が、そもそもICTってなんなのかという基本的なことから、なぜ今、ICT教育が必要かということやデジタル時代の「常識」と「落とし穴」についてまで、分かりやすく解説しています。大阪産業大学がこれからの社会に向かふどのような教育を実現していくのかについて知ることができます。

さて、今年は開学60周年の記念の年です。阪駒祭(大学祭)も第60回の節目の年となり、参加した学生たちは大いに盛り上がり、楽しい2日間を過ごすことができました。阪駒祭開催期間中には、開学60周年記念事業として養老孟司氏の講演会も実施されました。

学生たちの課外活動では、バレーボール部男子が西日本インカレで16年ぶり、3回目の優勝を果たすことができました。また、硬式野球部は阪神大学野球連盟秋季リーグにおいて春秋連覇を成し遂げることができました。おめでとございます！部員たちの雄姿は11ページから12ページに掲載されています。

南キャンパスに体操競技専用体育館Well Gymが誕生しました。開設記念式典の様子が掲載されていますのでご覧ください。

最後になりますが、後援会は支部活動のさらなる活性化のために、後援会支部役員を大募集しております。興味をもたれた方は、ぜひOHPのQRコードからお問い合わせください。

今後とも引き続き、後援会活動と本学へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

後援会幹事長 学生部長 藤岡克則

OSU 後援会



大阪産業大学
公式SNS一覧